

## ■ 東京大学の最先端透視技術ミュオグラフィと関西大学のメディアアート技術が融合 ■ 新たな分野のサイエンスアート「ミュオグラフィアートプロジェクト」始動！

～ ミュオグラフィの理解促進、サイエンスの魅力発信を目的に展示会&講演会を開催 ～

【展示会】 9月5日(火)～11日(月) 11:00～18:00 グランフロント大阪 ザ・ラボ2階 アクティブスタジオ

◆報道機関対象現地説明会 9月5日(火)16:30～17:00

【講演会】 9月8日(金) 17:30～19:00 関西大学梅田キャンパス 8階 KANDAI Me RISE ホール

このたび関西大学では、東京大学地震研究所の最先端透視技術ミュオグラフィを本学総合情報学部のメディアアート技術で表現するミュオグラフィアートの展示会と講演会を開催します。

### 本件の ポイント

- ・東大地震研究所の最先端透視技術ミュオグラフィと関西大学のメディアアート技術が融合
- ・近年注目されている科学をモチーフにしたサイエンスアートの新たな分野への挑戦
- ・普段は目に見えないミュオグラフィを可視化した画期的な取組み

本プロジェクトは、科学シーズとして日本が世界に誇る東京大学の最先端透視技術ミュオグラフィを取り上げ、新たなサイエンスアート融合空間の創生を試み、発信しようというものです。絵画やデザインの専門家の協力を得ながら、本学総合情報学部の研究者が保有する3D-コンピュータグラフィックス(3D-CG)、3D-逆遠近錯視(3D-イルージョン)、絵画等を音響化する技術(サウンド・インスタレーション)とミュオグラフィとの融合は、サイエンスアートの新たな分野への挑戦であり、画期的な取組みです。

「ミュオグラフィ：巨大物体の謎を解く 21世紀の鍵」と題した展示会では、メディアアート技術を駆使してミュオグラフィとデジタルアート・油彩を融合させた作品を展示し、絵と音でミュオグラフィを体感いただきます。講演会では、ミュオグラフィ研究のパイオニアとして世界的に活躍する、東京大学地震研究所・田中宏幸教授と、本プロジェクトリーダーである本学総合情報学部・林武文教授が講演を行います。

### ■ 『ミュオグラフィ』とは？

ミュオグラフィは現代物理学を応用した新しい透視技術です。X線レントゲン写真はよく知られた透視技術の1つですが、火山やピラミッドなどの巨大物体を透視することはできません。これを可能にするのがミュオグラフィです。この新技術により、今まで想像の域を出ることがなかった内部構造を直接可視化できるようになり、今後、火山噴火予測やピラミッドの謎を解く鍵などにつながることを期待されています。

つきましては、ご多忙の折大変恐縮ですが、ぜひ取材・周知のご検討をよろしくお願いいたします。

記

【展示会】 会期/9月5日(火)～11日(月) 11:00～18:00 ※最終日は16:00まで

場所/グランフロント大阪 北館ナレッジキャピタル ザ・ラボ2階 アクティブスタジオ

◆報道機関対象現地説明会

日時/9月5日(火) 16:30～17:00 ※会期中であればその他の日時でも取材可能です。

【講演会】 日時/9月8日(金) 17:30～19:00

場所/関西大学梅田キャンパス 8階 KANDAI Me RISE ホール

※その他詳細は別紙をご参照願います。

以上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記お問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：石田、寺崎

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 Tel.06-6368-1131 Fax.06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp

## ■ 関西大学「ミュオグラフィアートプロジェクト」展示会および講演会 開催詳細

### 【展示会】

名 称：ミュオグラフィアート展 2017 「ミュオグラフィ：巨大物体の謎を解く 21 世紀の鍵」

会 期：9月5日（火）～11日（月）11：00～18：00 ※最終日は16：00まで

場 所：グランフロント大阪 北館ナレッジキャピタル ザ・ラボ2階 アクティブスタジオ  
大阪市北区大深町3-1（JR大阪駅より 徒歩3分）

内 容：東京大学地震研究所の最先端透視技術ミュオグラフィの観測対象である火山、地球外惑星、歴史的構造物などを、絵画やデザインの専門家の協力を得ながら、本学総合情報学部の研究者が保有する3D-コンピュータグラフィックス（3D-CG）、3D-逆遠近錯視（3Dイリュージョン）、絵画等を音響化する技術（サウンド・インスタレーション）を駆使した作品を展示します。来場者に絵や音で作品を体感いただくことで、ミュオグラフィへの理解促進ならびにサイエンスの魅力発信の一助になればと考えています。

展示者：林 武文（関西大学総合情報学部教授／プロジェクトリーダー）

Norman D. Cook（関西大学総合情報学部教授／プロジェクトメンバー）

井浦 崇（関西大学総合情報学部准教授／プロジェクトメンバー）

中島 裕司（画家、博士（芸術）／プロジェクトメンバー）

Sara Steigerwald（画家／プロジェクトメンバー）

入場料：無料

対 象：どなたでも可（事前申込不要）

### ◆報道機関対象現地説明会

日 時：9月5日（火）16：30～17：00 ※会期中であればその他の日時でも取材可能です。

説明者：角谷 賢二（関西大学学長室 シニア URA／プロジェクトメンバー） 他

### 【講演会】

名 称：「ミュオグラフィ：巨大物体の謎を解く 21 世紀の鍵」講演会

日 時：9月8日（金）17：30～19：00

場 所：関西大学梅田キャンパス 8階 KANDAI Me RISE ホール  
大阪市北区鶴野町1-5（阪急梅田駅茶屋町口から徒歩約5分、JR大阪駅から徒歩約10分）

内 容：講演1

「ミュオグラフィ」

田中 宏幸（東京大学地震研究所教授／プロジェクトメンバー）

講演2

「文理融合を超え新しい教育分野を創ってきた関西大学。そしてミュオグラフィとの出会い。」

林 武文（関西大学総合情報学部教授／プロジェクトリーダー）

入場料：無料

対 象：どなたでも可

申 込：必要（定員150名）

「ミュオグラフィアートプロジェクト」ウェブサイトのイベントカテゴリー

<http://wps.itc.kansai-u.ac.jp/ku-map/2017/08/723> 内の専用フォームから申込

### <ミュオグラフィアートプロジェクト>

2017年4月に関西大学総合情報学部で発足したプロジェクト。近年、プロジェクトマッピングなどの最新科学技術を利用したサイエンスアートが注目されている一方、世界的に若年層の科学離れに歯止めがかからない現状を背景に、今後アートの力をサイエンス（科学）に投入することが科学離れを食い止める一つの手段として重要であると考えています。本プロジェクトは、科学シーズとして日本が世界に誇る東京大学の最先端透視技術ミュオグラフィを取り上げ、関西大学総合情報学部の研究者が保有するメディアアート技術と融合して、新たなサイエンスアート融合空間の創生を試み発信しようとするものです。

プロジェクトリーダーである林武文教授（関西大学総合情報学部）、ミュオグラフィ研究の世界的パイオニアである田中宏幸教授（東京大学地震研究所）をはじめ、大学教員や国内外の芸術家・研究者などで構成された、分野と国境を越えたグローバルプログラムです。その他プロジェクトの詳細は下記をご参照ください。

ミュオグラフィアートプロジェクト ウェブサイト

<http://wps.itc.kansai-u.ac.jp/ku-map/>